

9月	矢作川愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 34.6km~41.62km
			管轄出張所: 岡崎出張所
実施日	令和2年9月30日	実施区間	久澄橋~高橋

『平成の大改修』

■トンネル区間の改修内容

- ・今回の改修では、現在、1秒間に約10m³〔立方メートル〕の下水道水に対し、1秒間に90m³の水を流すことができると、新しいトンネルを作ります。
- ・これにより、安永川の下水道能力が9倍となり、10年に1回の豪雨で降る雨（時間雨量63mm）を流すことができるようになります。

■開水橋区間の改修内容

- ・トンネル区間上流の掘り込み河川区間では、「やすらぎとふれあいの水辺づくり」を整備の方針として、河川改修をおこなっていきます。
- ・開水橋区間では植物や生物の生態系に配慮した『多自然川づくり』の手法により、変化に富んだ水環境を創出し、豊かな自然環境の再生を目指します。

■矢作川合流部の排水堰門施設

- ・矢作川との合流部に建設される排水堰門は、面体が横方向に4道に並ぶので、ハーモニカのような外観をします。
- ・堰門延長約64mで矢作川堤防に建設され、明治用水路を下流していきます。1面水につき、高さ3.6m、幅5.9mの大きさで、全体で1秒間に100m³の水を流すことができます。
- ・堰門には、魚の通る道である「魚道」を設けることで、魚が遡上（そじょう）できるよう川づくりを目指していきます。

整備方針

目標: 概ね10年に1回程度発生すると想定される降雨(1時間63mm)による洪水を安永川に流せるようにします。

目標: 「魚の住む川」、「心やすらぐ景観」、「自然とふれあえる水辺」を造りだした「やすらぎとふれあいの水辺づくり」をおこないます。

安永川改修計画図

- トンネル上流端~安永川上流端 ●

上流端水防柵イメージ (2023年度開設計画)
- トンネル部 ●

下流端水防柵イメージ (2023年度開設計画)
- 矢作川合流部~トンネル下流端 ●

新設安永川ルート図

魚道イメージ (写真: 一級河川電川)

矢作川鵜の首地区水位低下対策事業を、レポートしようとしたのですが、まだ、現地では全く着工されていませんので、この事業と対を成す「安永川」の改修の状況を報告します。

矢作川鵜の首地区水位低下対策が**堤外の外水氾濫対策**で、堤内の「安永川平成の大改修」がいわゆる**堤内の内水氾濫対策**となり、豊田市の市街地を洪水、浸水対策として2本柱の対策になり地域住民300年の悲願が達成されよとしています。

豊田市役所で、「東海豪雨から20年」のパネル展が、9月1日から11日開催された。「鵜の首地区水位低下対策事業」のパネルもありました。



9月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 34.6km~41.62km
			管轄出張所: 岡崎出張所
令和2年9月30日		実施区間	久澄橋~高橋

令和2年9月30日 「旧安永川トンネル」のレポート



旧安永川隧道



9月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 34.6km~41.62km
			管轄出張所: 岡崎出張所
実施日	令和2年9月30日	実施区間	久澄橋~高橋

令和2年9月30日 「新安永川トンネル」のレポート



新安永川トンネル入口



新安永川トンネル出口

9月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 34.6km~41.62km 管轄出張所: 岡崎出張所
実施日	令和2年9月30日	実施区間	久澄橋~高橋



矢作川安永川樋門

旧安永川は昭和7年から15年に掘削されたトンネル掘削事業「愛知県安永川沿岸排水路改良工事」で流下能力10m³/SECであった。この改良事業から70年が経過し、新たに安永川が流下能力90m³/SECに大改修された。